（八日夕刊）

休刊　大祭日、第一、第三日曜

定價　一部二錢郵税　一ケ月六十錢　十五錢

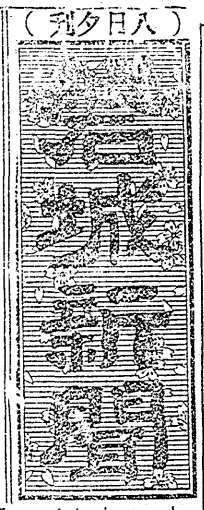
廣告料　巻行六十錢　指定廿錢堺

巻行金壱拾銭也　巻行金壱拾銭也

福島縣平町四町十六番地

發行所　磐城新聞社

電話五大四番



生きんとする姿

平四　蝸牛生

只一人、此の世に抛り出され起き上つては見たものゝ、其處は餘りに悲しい姿をしてゐる世界であつた。鬱り世界の姿であつた、恐ろしい世界の姿であつた

自分は獨りぼつちであつたのだ。何んの背景的勢力もない只た一箇の人間に過ぎなかつた。

何んの智識もない哀れな人間だつたのだ。そうしては毎日憂鬱と淋寥の日を悶々の中に過さなければならなかつた、自分は又、何時の間にか繊を覺わた。あの力強い人間の間に微笑むである嬉しき異性を戀しく思ふ樣になつた。

然しそれも束の間であつた、刹那の歡びに過ぎなかつた。戀を知つて暗黑の世界に輝く光を仰ぎ得た事を天に感謝したのも、餘りに淡い戀の夢であつた。自分は意氣地を言ふ事を與へられてゐなかつたのだ。

力強い逞しい男達が自分の美しい戀人を奪つてゐつてしまつたのではないか。

大地にひれ伏して嘆いても悶えても自分の戀人は二度と笑顔を見せてはくれなかつた。苦腦も悲哀も愁嘆も總べては與へられた運命であるとは云へない

傳統的、背景的勢力のない者は他くまで虐げられなければならなかつた。斷然起つて人權の平等を唱へ權利を主張すると、それは結局無駄骨であつた。彼等の基礎は餘りに根强かつたのだ。自分は覺つた、假令今彼等を倒しても、亦彼等に幾るべき者の立つ事を知つて、そうしては地球上に生殘の存在する限り、强き者と弱き者の分野は永久に續くのであらう。自分は漸く彼等に與へられた幸福を認める樣になつた

自分等は只だ足下に横たはる岩石を堀るべき運命の中にかれた一箇の存在物に過ぎないのだ、そうして其の採掘した岩石の處分方法を知る者に委ね、其の甘味のみを受得するものは所謂幸福を與へられた人間等も智者も、幸福な運命を與へられだ者の奴隷に過ぎなかつたのだ。

あすの生計を脅かされる七百餘の家族

魚市場の暗躍に發端した魚取引所中止問題

石城鮮魚商組合より成る取引所對平魚市場の係爭は市當局に對して取引所の存廢は區の盛衰にかゝはる重大問題だからこの際當區は取引所の存立を許可し間接に市場の態度に就いては可成の權化、近來移に見る名議論の中心となつてゐる模樣であと

二町議外有志數名連署で縣へあり問題は益々注目され市場側の出しの妥協案に對する取引所側の態度強硬にして容易に纏まらず依然對立抗爭中のところ六日附を以て取引所側に對し縣當局より情する外斯くの如く七百名の營業停止の命令があり爾來全く營業不能に陥つたゝめ鮮魚商組合員百七一名は手を拱ふして徒らに焦慮するのみとなつたが斯くては百七十餘名の組合員と七百餘の家族が

明日の生計を支ひ得ない由々しき社會問題化し

たので組合長鈴木又六氏外幹部は七日急遽田福當局に陳情該中止命令の取消しを追つてゐる、此の問題は双方が鳴り物入りで大騒ぎを演じ組合の取引所は兎も角日を追ふて盛んとなり地元白銀町は相當繁昌、現在では地元民が擧つて取引所を擁護してゐるといふ狀態にあつた矢先突如として縣から取引所の正式許可まで取引その他の用件に就て主務省中止を命ぜられたゝめ間接と打合せなすため上京中だに打擊をうけた地元民は區長當時氏と共に高橋、櫻井日朝歸聽した。經過を左の

牛活を脅かす重大な

問題を見逃す能はずとなし地元加藤丈夫、高橋龜松の兩氏外有力家は若し縣が飽くまで取引所を中止せしむるときは個人名義を以て鮮魚商の營業權を得た上百七十餘名の鮮魚商人を救濟すべく組合員を鞭撻慰撫しつゝ

四倉青年團長

菊地新校長就任

四倉町青年團長は前小學校長馬場末松氏なりしが此度中村小學校へ榮轉したので後任として新任學校長菊地正一氏が去る六日の總會に於て萬場一致を以て推擧された

小名濱築港其他の起債稍々好望

許可指令は臨時議會閉會後

尾戸課長歸廳談

小名濱築港工事費起債を始め災害復舊工事費起債地災害復舊補助追加豫算許可その他の用件に就て主務省中止を命ぜられたゝめ上京中だに打擊をうけた地元民は區つた本縣尾戸庶務課長は七日朝歸聽した。經過を左の

如く語る

災害復舊工費四十二萬七千圓小名濱築港工事費起債九十三萬五千七百圓の起債許可を得る爲內務省に說明交渉をなした大体許可の立案だけ濟ませた郡が土木局、大藏省など會議の必要があるので許可指令は臨時議會閉會後となると思はれる、更らに昨年五月濱三郡を襲つた耕地災害の被害額は大体二百萬圓位だつたが五年度に復舊補助の追加をす萬圓豫算に計上する承認を得た、その他水利使用料徴收標準改正 件についても承認を求め今回の用件は萬事好都合に運んで縣の方針通り進んだ

四倉署の選手 來る

十日福島市武德殿に於て縣警察官劍道試合に四倉署より國分巡査、柴田巡査の兩氏が出場に決した

赤井果樹組合

石城郡赤井村の果樹組合聯合會は七日俵商工大臣宛共同出荷組合助成金一千圓の交付方を縣經由にて申請したが同地方は石城梨の產地として知られてゐる

横領

平署に檢擧さる

石城郡小名濱町字下明神町

郷黨の先輩友人にお詫びに來平

鎭海灣事件の責任者で

平出身の高崎大尉

平町四丁目出身（磐中第七中の兒童百餘名の生靈を失回卒業）砲兵大尉高野秀夫氏は鎭海灣要塞指令部副官として勤務中去る三月中被の椿事突發し活動寫眞見物

は七日俵商工大臣宛共同出荷組合助成金一千圓の交付方を縣經由にて申請したが同地方は石城梨の產地として知られてゐる

當時住所不定湯本町字三國つた事件の責任者として軍法會議に附され罰金刑に處せられたので深く責任を感じ上司當局に對し進退伺ひ

を出したが其の儀に及ばず正式に立候補屆を提出せるものは七日迄三名のみ町別にすれば本町二、仲町三、新町四、田戸一にて十名の顏ぶれは確實らしく本町の二名は地盤人口より見て今一名の增員は甚しくなく結局二名の增員と見られて居た

一名が戰ふ

四倉町家屋調査委員として

家調候補者に警告

平署の取締方針

平署では八日午前九時より平署第一次の不良狩りで二十八名の硬派不良連が見事に檢擧されたが此の檢擧に驚くかと思ひの外檢擧に漏れた硬派不良連は依然として市內に散在す カフエーバー等を根城に盛んに不良を働いてゐるので平署でもまた〳〵今明日中に第二次不良狩を決行する事となり着々準備を急いでゐる

愈々第二次の不良狩りを斷行

平署不斷の努力

自動車檢査

石城郡各警察署管下の自動車檢査は左の日割で行ふと

△平、四倉署管內（五月卅日より六月三日まで）

△植田署管內（六月四日）

特別議會のぞき記

東京にて 吉田生

致友會で追加豫算全部返上の日元議長で政治會の長鳩山兩君の面上にも一段々老たりし柏谷義三君の長逝哀愁の色かゝりあり浮かぶを悼む哀悼演說が前例に依つて反對流の民政黨富田幸次郎君に依つて述べられた

◇

敵も味方もその瞬間一齊に異樣なジックに打たれ嗽の節約は產業を萎縮沈滯に陷れる、我に聲を與へよ然らずんばパンを〻叫ぶ萬失業者の慘めな生活狀態が首相の眼には何と映ずるか

◇

冷靜もよい、無表情もよい、然し國民の行詰まつた生活苦に無關心な政治ではやり切れない。

◇

藏相の專斷で大切な預金部資金一億五千二百萬圓で在外正貨を買入れた其の國家の損害が藏相の言明だけでザット五百萬圓それだけ失業者に仕事を與へてやつたと嘯井上君を德とする。

◇

この井上藏相も銀行家丈けには神樣同樣に崇められる、非募債の功勞に酬いるため銀行家連醵金して金の像と建立するさうなそして其眼や口からは國民の赤い血が流れ出づるであらうと

◇

外務省の政府委員永井柳太郎君曰く「今議會は外務大臣といふ主力艦が活躍するので僕の樣な補助艦の必要はない」と

◇

政友の山崎達之輔君あの左重な辯で頻りに「內閣總理タイ臣、內務タイ臣は……」連發、そこで與黨の彌一次「山崎ツダイジン」といふ冷靜もよい、無表情もよい、然し國民の行詰まつた生活苦に無關心な政治ではやり切れない。

◇

第二分科會で松田拓相の言に依ると內地在住鮮人勞働者に依りて內地勞働者は益々失業狀態に陷る、依つて今後朝鮮に私鐵又は土木事業を奬勵して渡來防止に力を注ぐと、た話し頗る結構但し實行の可能性は甚だ疑はしいもの。

◇

安達內相に野黨政友議員から學校出の失業者年々激增、これが救濟策も急務だが政府は百尺竿頭一步を進めて失業防止に主力を注ぐ

覺悟はないかと、內相即座に「同感であります」で共鳴これも實行は至難中の至難事か

◇

外務省の政府委員永井柳太郎君曰く「今議會は外務大臣といふ主力艦が活躍するので僕の樣な補助艦の必要はない」と

◇

政友の山崎達之輔君あの左重な辯で頻りに「內閣總理タイ臣、內務タイ臣は……」連發、そこで與黨の彌一次「山崎ツダイジン」といふ冷靜もよい、無表情もよ

丘に酬ならんとする家調選擧

協調遂に決裂

猛烈な競爭に入る

平町の家調選擧

平町家調委員選擧を前に町會各派交渉會は妥協成立困難であろうことを豫想されてゐたが漸せるかな七日午後一時より開かれた最後的交渉會に於て思政系同志會側の荻原氏を初め各派代表者は

吾々は飽くまで平和主義を以て協調成立に努めて來たが同好會（野崎氏派）が其の裏を掻いて妥協成立前に勝手に立候補屆をなしたが如きは協調に對する誠意なき許りか一種の挑戰として斯かる上は辭然妥協の意義を認めない由の主張一致し遂ひに不成立に終り益々切り取御免の成行きに委せることゝなり今八日朝以來續々立候補屆を出し後二日に迫つた選擧戰に猛烈な火花を散らさんとしてゐるが十五名の定員に對し少くとも二十二三名の立候補を見る模樣である

馬目玉彌氏

運動開始

町內有志の熱心

平町紺屋町、古銀治町を根據に遂ひに馬目玉彌氏は調査員選擧候補者馬目玉彌氏は昨七日熱心な町內有志の運動に移つた同氏は紺屋町區長であり各種の關係から相當の强味を持つてゐる

月見町から

根本氏出馬

平町月見町の町會議員根本品藏氏は今期の家屋稅委員

選擧に際し多數同志に勸かれ出馬するらしいが相當薦狀撒布する事となり更に根强い地盤を有してゐるの獨斷で出馬する者あつた場で立候補メト安全候補を以て目されてゐる

勿來町選擧

妥協成立

九名を立候補

勿來町の家調委員選擧策推薦會は七日役場に於て大平町長並び皆川喜門高野代表者二十餘名會合左記の如く決定した

小宮山省吉、渡邊重三郎、古川權左衛門、富岡七衛、坂本龜太郎、北郷繁七、鈴木漁藏、小野忠衛、大平喜治

四倉家調選擧

定員超過

昨報植田町家屋稅調査委員推薦會は七日午後二時より代表者二十餘名會合左記の如く決定した

小宮山省吉、渡邊重三郎、古川權左衛門、富岡七衛、坂本龜太郎、北郷繁七、鈴木漁藏、小野忠衛、大平喜治

圓滿裡に

植田も決定

立候補者の氏名

尙明九日前記四名の名で推薦狀撒布する事となり更に根强い地盤を有してゐるの獨斷で出馬する者あつた場で立候補メト安全候補を以合は飽迄反對するに決した

大平睦四郎、赤津庄兵衛、小松學、赤津修一、橫山太一、安島久、青天目信治郎、兒玉富八、渡邊梅吉郎

勿來町選擧

妥協成立

九名を立候補

勿來町の家調委員選擧策推薦會は七日役場に於て大平町長並び皆川喜門高野代表者二十餘名會合左記の如く決定した

小宮山省吉、渡邊重三郎、古川權左衛門、富岡七衛、坂本龜太郎、北郷繁七、鈴木漁藏、小野忠衛、大平喜治

月見町から

根本氏出馬

平町月見町の町會議員根本品藏氏は今期の家屋稅委員

平町家屋稅調査委員立候補者氏名

村木町 村木商 櫛田榮太郎
紺屋町 米穀商 馬目玉彌
新川町 村木商 長 小次郎
番匠町 金貸業 堀江正茂
田町 自動車業 野崎藏藏
才槌小路 請負業 前澤文太郎
鎌田町 穀員 鈴木光吉

磐女旅行通信

第三信 奈良にて

五月五日、午前一〇時四九分に奈良へついて宿に荷をおきたゞちに猿澤の池にむかつた、こゝ邊よりそろ〳〵春日社の鹿のにほひがしてくる。

なだらかな若草山の頂にのぼつてしばらく新鮮な空氣を吸ひ東大寺にむかふ。大佛堂で五丈三尺だと云ふ大佛殿に今更乍らしみ〴〵見いる

丈高い大佛堂の中に流れて止まぬ時を思ひその流の中に浮んで消えた千古の人々をしのび乍ら御堂を出た

新田目氏表彰 平町新田目春松氏は去る六日擧行した磐中創立記念會祝賀式に際し多年同窓會の功勞者として同校廣田教諭と共に表彰された

議會風景

▽……院內の政友會控室に次のやうな落首が貼られてあつた

ガマ（蒲）口を雄幸にせんとあせれども、世は不景氣で使はれもせず

（濱口主相）

履物の破れ繕ふ金もなく今日も安達で步く悲しさ

（安達內相）

井上の枯木にからむ爲かつら、次第〳〵に色あせにけり

（井上藏相）

親の因果巡り〳〵てこの頃は千冬吹けども聞く人もなし

（渡邊主相）

田の中の蛙の顏に水打てとしやア〳〵として手耐へもなし

（田中文相）

源治平家入亂れての馬ひに松田々々と尻込みをする

（松田拓相）

財物とりそこねたる桃太郎、彥々として歸るなさけなさ

（財部海相）

縮緬がたゝつて財布空になり俵の數も去年の半分

（俵商相）

農村の疲弊固德目に見わて町田の稻もみのらざりけり

（町田農相）

江木の枝に翼やすめて痩せ鳥 あほに〳〵と夜もすがら鳴く

（江木鐵相）

一成の腰を立てんとあせれども引留められて身を宇垣つゝ

（宇垣陸相）

時言

鮮魚取引所に對し縣當局の亂暴極まる中止命令が遂ひに社會問題化す

□

けふ働かねばあす喰へぬ鮮魚商百七十、七百餘名の家族を如何にする

□

幾ら無非道な緊縮內閣と雖も、此の事實を素知らぬ顏は出來まい

□

家調選擧いま〳〵白熱化

□

平町會各派交渉會果せるかな遂ひに決裂

□

古い狐と老狸の腹の探り合ひ、どうせ素より纏まる相談でないのだ

清世界釀造元 石城小名濱町 清水屋 小野晋平
銘酒 各炭鑛御用達 電話六番

帽子!!
皆樣の御氣に召す
モダーンな型 スマートな色合
中折 鳥打 子供帽
可愛らしいお子樣方のために
明るい 初夏の帽子
平町四丁目 ツルヤ 電一四〇

院醫意（自彩の便あり）
X光線科 外科專門
上田外科醫院
平南町 電話一二九
增築落成 病室完備

特賣!!
たひら正宗 福島縣清酒品評會一等賞受領
花春 同優等賞受領
醸造元 山崎合名會社
電話一〇番

次男峯雄葬送の際は遠路態々御會葬被下成且過分の御香奠を賜り難有奉深謝候混雜中略儀乍以紙上御厚禮申上候
五月八日
水野虎三郎
外親戚一同